

消 防 本 部
消 防 総 務 課
課 長 平 井 貴
直 通 9 2 0 - 9 1 0 0

消防力の強化 消防本部・北消防署の移転 1 年

消防本部・北消防署が寿町に移転し、1 年が経過しました。市民の皆様の安心・安全を守るため、新庁舎の施設及び設備を効果的に使用して業務に取り組み、職員一丸となって消防力の強化を目指し、知識及び技術の向上に努めています。その消防体制の充実や消防力の強化として表れているものを紹介します。

■人的強化

○救助隊員の能力強化

庁舎に訓練塔が併設され、実践的な訓練体制が整ったことにより、救助技術の高度化及び基本的技術を練磨することができるようになりました。このことから平成 24 年 6 月 6 日静岡県消防学校にて行われた消防救助技術大会「障害突破」の種目で、沼津市として初めて 2 位となり、関東地区大会へ出場することができました。現在も施設及び資機材を活用し、更なる救助技術能力の強化により災害現場での的確な活動を図るため日々訓練を重ねています。

○火災調査員の能力強化

火災原因調査室にエックス線透過装置等の機器を整備したことにより、出火原因を究明するための鑑識を随時行える体制が整い、調査員の技術の向上とともに出火原因の究明に貢献しています。

平成 24 年 12 月 20 日現在で本年の出火件数 63 件中、出火原因不明の火災は 1 件です。

■災害対応能力の強化

平成 24 年 6 月 19 日～20 日にかけて、台風 4 号に対する情報収集や部隊の運用などを消防本部に併設する警防本部で実施しました。大型モニターによる地図表示、各防災関係機関の外部カメラによる映像の映し出し等により、情報収集能力が向上し、また、出場中の消防車両の動態が把握できることから、連続して発生する事象に対し、効率的な消防隊の配置が可能となりスピーディな災害対応が図れました。

■市民の防火意識の高揚

○職場の見学・体験

主として市内の小学生及び中学生を受け入れ、消防の仕事を実際に体験したり、働く消防士と接することにより、消防という職場の理解を深めていただきました。

※見学 22 回－923 人 体験 12 回－52 人

○事業所との合同訓練

平成 24 年 10 月 25 日庁舎敷地及び訓練塔を使用し、静岡ガスと共同で「ガス漏れ事故対策訓練」を実施しました。実践的な訓練を通じて情報共有と相互に連携協働する対応力の向上が図れました。

○甲種防火管理新規資格講習

年 2 回実施する講習会の消防用設備等の実技が、実際に水を出して行う屋内消火栓による消火方法や、救助袋による避難方法などの実践的な講習が可能になりました。受講者のアンケートで防火管理に対する理解が深まったなどの意見が多く寄せられ、防火管理者の資質の向上が図れました。

★消防の広域化に向けて

駿東伊豆地区で目指している広域消防一部事務組合の消防本部に予定され、沼津市はもちろんのこと、駿東伊豆地区の消防活動拠点となります。屋上のヘリポートは、緊急時又は大規模災害時にその活用が期待されておりますが、緊急的なケースでは平成24年中にドクターヘリを3回受け入れており、広域的な災害対応活動拠点として市民サービスの向上に寄与していると考えます。

